

# 指定管理者申請のための 岩手県立総合防災センターの概要

令和7年12月

岩手県

## 目 次

1	名称	1
2	所在地	1
3	関係法令、条例等	1
4	目的	1
5	開設年月日	1
6	施設の沿革	1
7	施設の構造	1
8	面積	2
9	職員数	2
10	経費実績	3
11	利用状況	4
12	教育設備	5
13	防災体験セミナー	6
14	施設等の警備業務	6
15	自家用電気工作物の保安管理業務	6
16	施設配置図	6
17	岩手県防災指導車	7

## **1 名称**

岩手県立総合防災センター

## **2 所在地**

岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-2-2

## **3 関係法令、条例等**

総合防災センター条例、総合防災センター条例施行規則

## **4 目的**

県民の防災に関する知識及び技術の普及並びに防災意識の高揚を図ることを目的として整備されたものである。

## **5 開設年月日**

昭和 61 年 4 月 19 日

## **6 施設の沿革**

県民に対する防災思想の普及・啓発を図り、併せて大規模広域災害の発生に対処した防災資機材を備蓄する施設として、昭和 60 年度、国庫補助金（防災センター資機材等（広域分）整備費補助金）を得て、岩手県立総合防災センター（以下「センター」という）を建設した。

その後、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて修正を行った県地域防災計画において、センターを「防災知識の普及及び自主防災組織等の活動の拠点」として位置付け、平成 8 年度に起震装置等各種展示設備やモニター映像等を更新。さらに、平成 26 年度には、東日本大震災津波等を踏まえた展示設備の更新を行うとともに、利用者に配慮した施設改修を実施した。

ソフト面においても、防災体験セミナー（6 コース～防災・避難・消火・応急手当・幼児・総合）や県民の防火・防災意識の高揚を図るための「消防体験まつり」を実施しているほか、平成 18 年度からは指定管理者による管理運営に移行することにより、運営の充実に努め、現在に至っている。

## **7 施設の構造**

- (1) 工事着工 昭和 60 年 7 月 31 日
- (2) 工事完成 昭和 61 年 3 月 7 日
- (3) 給水 矢巾町上水道
- (4) 排水 矢巾町公共下水道（平成 17 年 3 月 30 日に浄化槽を撤去）
- (5) 受電設備 消防学校から電気を供給（消防学校の受電設備：3 相 3 線 6 6 0 0 V）

## 8 面積

(1) 敷地面積 消防学校敷地内 (消防学校敷地面積 44,386.75 m<sup>2</sup>)

(2) 建物延床面積及び構造

ア 防災センター 877.92 m<sup>2</sup> R C 造 2階建

イ 消火訓練棟 16.65 m<sup>2</sup> R C 造 平屋建

ウ 元浄化槽設置棟 5.27 m<sup>2</sup> R C 造 平屋建

## 9 職員数（令和7年4月1日現在）

4名 (内訳) 短時間正職員 2名

臨時職員 2名

## 10 経費実績

過去3年間（令和4年度から令和6年度決算）の経費は次のとおり。

(単位：円)

区分		令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度決算		3ヶ年平均	
		経費内訳		経費内訳		経費内訳		経費内訳	
人件費	正規職員	3,199,868		2,378,904		4,372,942		3,317,238	
	臨時職員	6,971,318		7,225,600		5,199,297		6,465,405	
	共済費	1,919,336	12,090,522	1,580,660	11,185,164	1,636,891	11,209,130	1,712,295	11,494,938
旅費	事務連絡用務等	166,740	166,740	214,700	214,700	186,940	186,940	189,460	189,460
需用費	光熱水費	燃料費 電気料 水道料 プロパンガス料	816,713 886,801 428,327 5,540	825,753 920,314 407,488 7,288	903,225 903,475 428,151 8,958	249,563 903,530 421,322 7,262			
	光熱水費以外	防災体験セミナー等事業用消耗品 印刷物類・コピー料金 その他一般消耗品等	292,377 286,230 396,470	203,987 665,414 975,077	251,101 486,134 1,180,602	249,155 479,259 953,572			
	維持補修費	建物維持修繕料 展示設備・物品維持修繕料 防災指導車保守整備費	450,127 375,360 52,734	813,230 0 878,221	252,186 577,720 960,861	505,181 317,693 903,524			
	食糧費	茶菓代	7,219	7,219	4,863	7,498	7,498	6,527	6,527
小計			3,997,898		4,307,169		4,108,403	4,137,823	4,137,823
役務費	通信運搬費等	138,193	138,193	144,623	144,623	243,203	243,203	175,340	175,340
	保険料	施設保険料 起震車保険料※自賠責保険を含む。	145,540 89,550	145,540 235,090	145,540 256,230	145,540 91,260	145,540 236,800	145,540 97,166	145,540 242,706
	小計		373,283		400,853		480,003	418,046	418,046
	委託料	展示品装置等保守点検 防災指導車保守点検 冷暖房設備保守点検 地下タンク貯蔵所清掃点検 消防用設備保守点検 非常用発電設備保守点検 ホームページ保守等 清掃	572,000 605,000 272,800 92,400 19,800 0 0 897,600	638,000 687,500 275,000 97,900 25,300 0 0 2,459,600	638,000 701,250 287,100 101,200 25,080 0 0 930,600	616,000 664,583 278,300 97,166 23,393 0 0 2,729,430			
備品購入費		121,000	121,000	145,200	145,200	240,900	240,900	169,033	169,033
公課費	自動車重量税	0		40,000		0		13,333	
	法人消費税・地方消費税	930,300	930,300	917,100	957,100	920,300	920,300	922,566	935,900
その他		328,144	328,144	312,744	312,744	371,400	371,400	337,429	337,429
合計		20,467,487		合計	20,177,230	合計	20,246,506		20,297,074

※1 自賠責保険料及び自動車重量税は、2年に1度経費が計上される。

## 11 利用状況

### (1) センター利用実績

区分		令和4年度来館者数		令和5年度来館者数		令和6年度来館者数		開設時からの総来館者数 (令和6年度末現在)	
開館日数		308日		309日		307日		12,101日	
総 来 館 者 数	団体数	120 団体		130 団体		144 団体		7,148 団体	
	人員数	2,321人		2,649人		2,618人		247,484人	
	個人	1,679人		2,034人		2,537人		160,817人	
	合計	120 団体 4,000人		130 団体 4,683人		144 団体 5,155人		7,148 団体 408,301人	
研 修 コ ース 別  来 館 者 の 内 訳	区分	個人・団体		個人・団体		個人・団体		個人・団体	
		団体数	人員	団体数	人員	団体数	人員	団体数	人員
	一般体験コース		1,679人		2,034人		2,537人	2,015	222,643人
	防災体験コース	72	1,233人	72	1,299人	73	1,285人	1,464	41,097人
	消火コース	2	25人	3	39人	0	0人	498	15,957人
	避難コース	4	61人	8	187人	16	262人	904	40,259人
	応急処置コース	0	0人	1	12人	1	21人	205	5,017人
	児童コース	30	656人	35	695人	41	746人	1,098	39,857人
	防災総合コース	0	0人	0	0人	0	0人	213	8,191人
	視察等	0	0人	0	0人	3	28人	13	216人
	その他(会議等)	12	346人	10	399人	10	276人	738	35,064人
	合計	120	4,000人	130	4,683人	144	5,155人	7,148	408,301人
対象別区分	団体数	人員	団体数	人員	団体数	人員	団体数	人員	
	団体	幼年消防クラブ	0	0人	0人	0	0人	80	2,022人
		少年消防クラブ	0	0人	1	13人	1	13人	220
		婦人消防クラブ	5	125人	5	80人	4	132人	549
		消防職・団員	7	206人	5	300人	7	180人	1,001
		企業	5	44人	7	122人	1	9人	262
		社会福祉施設	15	216人	22	277人	30	410人	438
		町内会	16	271人	8	166人	12	187人	630
		婦人団体	0	0人	1	30人	3	68人	116
		子供会	10	199人	13	308人	17	384人	528
		学 校	幼・小学生	34	765人	33	729人	34	680人
			中・高生	13	236人	11	206人	9	167人
			大学・専門生	1	21人	1	18人	1	21人
		自治体関係	9	149人	15	286人	20	310人	862
									30,681人

	対象別区分	団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員
県外	消防関係	2	30人	3	60人	1	14人	291	6,029人
	自治体関係	1	15人	2	19人	3	30人	83	1,656人
	その 他	2	44人	3	35人	1	13人	71	1,811人
	小 計	120	2,321人	130	2,649人	144	2,618人	7,148	247,484人
個人	幼児・小学生		127人		203人		377人		39,225人
	中・高校生		40人		23人		28人		4,880人
	成 人		1,512人		1,808人		2,132人		116,712人
	小 計		1,679人		2,034人		2,537人		160,817人
	合 計		4,000 人		4,683人		5,155人		408,301人

## (2) 防災指導車利用実績

区分	令和4年度利用実績	令和5年度利用実績	令和6年度利用実績	開設時からの総利用実績
団体数	37 団体	46 団体	47 団体	876 団体
貸出日数	82 日	91 日	105 日	2,239 日
催事日数	38 日	49 日	51 日	882 日
参集人員	8,817 人	7,393 人	27,348 人	728,630 人
体験人員	3,268 人	4,103 人	6,137 人	158,246 人
機器使用時間	80 : 00 時間	107 : 00 時間	136 : 00 時間	2,391 : 00 時間
走行キロ数	3,428 k m	4,528 k m	4,881 k m	93,069 k m
燃料補給	800 リツル	1,028 リツル	1,132 リツル	37,591 リツル

## 12 教育設備

### (1) 防災展示室

災害の発生する仕組みと対策（モニターTV、パネル展示、体験コーナー、防災ライブラリー）

### (2) 地震体験室

震度4から7程度の地震を体験できる部屋（東日本大震災の揺れを再現）

### (3) 視聴覚教室

防災に関する講義などを行う学習室

### (4) 煙体験室

煙の中の避難訓練

### (5) 防災シアター

100インチマルチプロジェクションシステムによる防災学習

#### (6) 消火訓練棟

消火器、屋内消火栓等の取扱い訓練

### 13 防災体験セミナー

防災体験研修及び教育訓練として、次のような防災体験セミナー等を実施している。

コース名	学習内容
防災体験コース	災害時及び防災の日ごろの心構えを学習する
消火コース	各種消火機器による消火方法を学習する
避難コース	避難器具体験、各種災害時の避難、誘導方法を学習する
応急処置コース	緊急時の応急手当の方法を学習する
幼児コース	火災や地震の怖さについて体験しながら学習する
防災総合コース	防災、消火、避難、応急処置コースを網羅した学習を行う

### 14 施設等の警備業務

岩手県消防学校が配置している寄宿舎管理人兼当直専門員が、岩手県消防学校校舎とともに岩手県立総合防災センターの警備を実施している。指定管理者制度移行後も引き続き現体制を維持する。

日中夜間早朝の巡視 18時00分 22時00分 6時30分 計3回

### 15 自家用電気工作物の保安管理業務

岩手県立総合防災センターの需要設備は、岩手県消防学校の需要設備と一体になっており、岩手県消防学校が岩手県立総合防災センターの需用設備も含め保安管理業務を実施している。指定管理者制度移行後も引き続き現体制を維持する。

また、岩手県立総合防災センターには非常用予備発電装置が一基設置されており、岩手県消防学校に設置されている非常用予備発電装置とともに、岩手県消防学校が保安管理業務を実施している。指定管理者制度移行後も引き続き現体制を維持する。

岩手県立総合防災センターに設置されている非常用予備発電装置の内訳			
場所	種別	電圧	出力
1階発電機室	屋内キュービクル型発電機	200V	30KVA

### 16 施設配置図

別添資料のとおり

## 17 岩手県防災指導車

(1) 愛称「そばっち号」

(2) 用途目的

岩手県立総合防災センター機能の一つとして県内各地において、疑似体験を通じ、広く県民の防災に関する知識の普及・啓発に資することを目的として平成9年度に導入された岩手県防災指導車「しんちゃん」の後継車両として整備されたものである。

(3) 設置年月日 平成30年5月10日

(4) 主要装置等概要

ア 車 体 3トントラック 総重量 7,195 kg (いすゞ自動車製 4輪駆動)

イ 起震装置 前後方向 280mm、左右方向 120mm、上下方向 40mm の範囲で作動し、以下の地震を体験できる。起震装置の揺れに連動して、体験室内の大型ディスプレイ（43型）に映像と効果音が発生するとともに、音声によるナレーションやLEDの文字表示機で地震発生年月日、地震名の表示を行う。

なお、ナレーションは、日本語、英語、中国語、韓国語を、LED表示は日本語、英語を準備している。

(ア) 震度階地震 震度2から震度7までの各震度階の揺れを再現する。

(イ) 再現地震 過去に発生した関東大震災、宮城県沖地震、三陸はるか沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災津波、熊本地震を再現する。

ウ その他装備品 煙体験テント、消火訓練セット（訓練用水消火器、消火訓練用的（まと）、電動小型コンプレッサー）、暗幕、モバイルノートパソコン等

(5) 車両外観図

別紙資料のとおり